

企画提案内容の項目

募集要領の記載内容を考慮し、次の事項についてできるだけ具体的に提案してください。
最初に、この募集に応募された動機について簡単に示したうえで、以下の項目ごとに作成してください。

1 人事管理

業務に従事する児童支援員は、児童を愛しみ、親しまれるとともに、保護者や学校関係者、地域から信頼されることが求められます。

また、遊びの技術を持ち、児童に関する文化を理解し、守り、伝えていくとともに、児童自身や親の心を理解し、その思いに寄り添った支援を行うことも重要な役割です。このような児童に関する業務を行う児童支援員について、その質を確保し、且つ継続的な配置を行うために、下記の項目について具体的に提案してください。

(1) 人材確保・人材育成

ア 人材確保・採用計画について

イ 職員の定着について

(ア) 現に運営している放課後総合プラン事業・児童館・保育園の職員の定着率を示してください。

【算出方法】

1－(令和5年度における定年退職以外の退職者数÷令和5年4月1日の職員数)

(イ) 職員の定着のために取り組んでいること

(2) 職員の配置及び勤務体制

時間帯ごとの配置人員及び勤務体制(月～金曜日、土曜日・学校休業日)について(特別な支援が必要な児童への対応を行う児童支援員は、別途配置のため、提案の児童支援員数には含めないでください。)常勤・非常勤その他配置させる職員ごとの職員数及びシフト表を平日(月～金曜日)、土曜日、学校休業日に分けてそれぞれ記載してください。

2 事業内容

業務の実施に当たっては、児童の発達段階や個性、地域の状況、施設条件等を考慮することが必要です。児童の成長や情緒の安定、生活の保全を図るために、年齢や対象に応じた指導内容等について具体的に提案してください。

(1) 学童保育事業

(ア) 行事やプログラムの企画及び実施について

(午後7時までの延長保育の実施を含む)

(イ) 家庭との連絡・調整について

(ウ) 特別な配慮を要する児童に対する保育

(エ) 虐待等要保護児に対する保育

(2) 放課後子ども教室事業

ア 本部・運營業務

放課後子ども教室の安定的運営確保において、施設をバックアップする本部の役割は重要であり、個人情報の取り扱いにも配慮が求められます。本部業務及び運営体制について具体的に提案してください。

(ア) 本部の運営体制について

(イ) 児童の利用登録及び名簿作成、個人情報管理について

(ウ) 保護者からの問い合わせ、苦情対応について

イ 安全管理・児童の活動支援

放課後子ども教室の運営にあたっては、児童の発達段階や個性、動線等を含めた施設環境、地域の状況等を考慮する事が必要です。そのことを踏まえたうえで、日常における児童の安全確保及び成長に応じた遊びや学びの支援内容を具体的に提案してください。

(ア) 日常における安全管理及び児童が安心できる環境整備について

(イ) 児童の主体的な遊びや学びを支援するプログラムの実施について

(ウ) 地域との連携、人材活用について

(3) 行政機関及び地域との連携・交流

本事業は学校や行政機関等と随時、連絡調整を行うとともに、職員が協力しながら児童への対応をしていく必要があります。業務の実施にあたって、学校のほか、利用者や地域団体、関係機関、近隣住民等とどのように関わっていくか具体的に提案してください。

ア 学校との連携について

イ 区担当課との連携について

ウ 地域、近隣児童館等との関わりについて

エ 苦情の解決について

3 安全衛生管理

(1) 事故防止・安全対策について

児童は遊びに夢中になりすぎ、不注意やけんかなどにより、事故を引き起こすことがあります。これは、児童自身が社会性を身につけることや緊急時の対応力をつけるための学習機会にもなりますが、時には児童の心身の発達に大きな影響を及ぼすこともあります。

また、昨今は、不審者の出没など、児童を取り巻く環境が悪化している現状もあります。

さらに、地震や風水害などの自然災害を含め、業務を行うにあたっての事故防止・安全対策についてどのように取り組むか、具体的に提案してください。

なお、当該施設には、学校 110 番を設置しています。

ア 日常的な安全対策と事故防止策（不審者等への対策含む）についての考え方

イ 地震・火災等への準備と発生時の対応について

(2) 衛生管理・維持管理について

本事業は学校施設を活用して事業を行うため、教育活動との共有部分の清掃や施設の維持管理に対する配慮が必要です。これらの管理について、どのように取り組むかを具体的に提案してください。

4 研修・準備

放課後ひろばの新規開設にあたり、円滑な事業運営を行うためには、研修・準備期間を設け、大田区の学童保育事業のレクチャー、利用者との関係づくり等を行っていくことが重要です。放課後子ども教室事業については、活動拠点の整備、事前登録受付業務、危機管理体制の整備、職員の研修などを行っていただきます。

研修・準備期間における事業者としての考え方を示してください。

(1) 研修・準備期間における職員配置計画

月別に分けた職員配置の予定表（配置時期、配置人数、配置日数等）

(2) 研修・準備期間においての方針

【学童保育研修・準備期間配置条件】

61名～80名定員

| | 2月 | 3月 |
|-------------|--------|---------|
| 常勤①（施設長） | 80時間以上 | 120時間以上 |
| 常勤②（学童リーダー） | 80時間以上 | 120時間以上 |
| 常勤③ | | 80時間以上 |
| 常勤④ | | 80時間以上 |
| 常勤⑤ | | 80時間以上 |
| その他職員 | | 延80時間以上 |

○ その他職員については、その他職員全員の従事時間の合計が80時間以上となるように設定してください。

5 その他の提案

上記1～4の提案項目以外に、提案するものがあれば、記述してください。

提案の実施に当たっては、委託開始直後からの実施ではなくとも、保護者と相談し、合意が得られたうえでの実施を想定し、提案いただくものでも差し支えありません。

具体的には、児童の主体的な遊び、学習等の活動支援、行事、生活指導、教材・遊具、衛生・健康管理、おやつ・食育、特別な支援が必要な児童に対する対応、危機管理、保護者や地域との交流・子育て支援、延長保育等に関してなど、何でも結構です。